

澁谷内閣審議官による記者ブリーフィングの概要

日時：平成26年12月9日（火）16：00～16：20

場所：合同庁舎8号館

【冒頭発言】

ワシントンでの交渉会合については、ホスト国から12月7日から12日までの日程ということで各国に連絡が来ているが、実際の首席交渉官会合、それから分野別の作業部会は、現地時間の8日から始まっている。

7日は首席交渉官のバイの協議に当てるということになっており、鶴岡首席交渉官も7日は3か国とバイの協議を行った。

それから、予め申し上げるが、今回の交渉会合について、ホスト国であるアメリカは政府として公式に公表していない。我が国としては、毎回の交渉会合において情報提供してきたということもあるので、今回についても、本日以降ブリーフィングをすることとしている。もともと閣僚会合と異なり、首席交渉官会合はそれ自体が非公式という位置付けが12か国においてされている中で、今回は事前公表もされず、かつ、日程もいつものように詳細に決められているわけではない。全体会合だけではなく、バイ協議をはじめ、文字通り非公式な協議も含めて進められることになると思うので、今回はいつもに増して、どこまで話して良いか大変悩みながら説明するというところをお含みおきいただければと思う。

8日は、午前中もバイの協議に当てることとされていたため、1か国とバイの協議を行った。それから午後に入り、現地時間の2時半から首席交渉官による全体会合が始まった。全体会合はその日の6時前に終わり、鶴岡首席交渉官はその後から夜にかけて、1か国とバイの協議を行った。都合、5か国の首席交渉官とバイの協議を行ったこととなる。

首席交渉官会合では、各論に入る前に、全体をどのように進めていくかについて話し合われた。皆さんおそらくその内容を聞きたいのではないと思われるが、交渉会合が非公式とされている中で、この話は特にセンシティブなので詳細は控えたい。ただ、次の会議の日程などについては話されていない。一言でいえば、具体的な日程や期限はともかく、できるだけ早くまとめようということに尽きる。

その後各論に移り、電子商取引を議論した。電子商取引は北京会合における閣僚の報告書によれば「合意に近づいている」という評価だったと思うが、10月のシドニー会合の時点で、テキストはほぼ終わりつつあった。現在は、ごく一部の国の間で、最後の詰めの議論が行われている状況で、結局この日も決着はせず、その問題に関わっている国どうしで議論していくこととなった。

それが終わって残りの時間は、北京会合で作成した作業計画のうち、これまでにやることになっていたものの確認を行った。ある論点について、作業計画のとおり終わったというものもあれば、期限通りに意見は出てきたけれど、引き続き調整が必要というものもある。引き続き調整が必要というものについては今週中に適宜フィードバックしようということになったようだ。

これらが首席交渉官会合の8日の概要である。

それから、並行して分野別の作業部会、いわゆるワーキンググループも開催されている。国有企業と原産地規則の作業部会は8日から最終日の12日まで通して協議される予定である。それから、8日は、そのほかに、リーガル（法的・制度的事項）に関する作業部会も開催された。リーガルの作業部会は、8日に一度協議し、おそらく首席交渉官会合でのリーガルに関する協議の状況に応じて、随時開催されるのではないかとと思われる。

それから、環境については10日から、同じく10日からは物品貿易（テキスト）の作業部会も開かれる予定である。

知的財産はどうした、と思われるかもしれないが、今日配信されたアメリカの専門情報紙の記事にも書かれているが、12か国による作業部会は現時点で予定されていない。ただ、我が国を含め、主だった国の交渉官は現地入りしているので、おそらくバイの協議など非公式な協議が行われるのではないかとと思われる。詳細は承知していない。

物品のチームについて、8日は関税の協議は行っていない。現地での明日9日にはいくつかの国と事務レベルの協議を行う方向で調整している。

大江首席交渉官代理については、本日昼前の便でワシントンに向かった。現地時間の9日午前に着く予定である。現地時間の9日午後からいくつかの国とバイの協議を行う予定である。

【質疑応答】

（記者）大江首席交渉官代理が本日現地に向かったとのことだが、アメリカとのバイの協議の予定は入ったのか。

（審議官）協議すると思われる。

（記者）本日、甘利大臣が記者会見で、今回は閣僚会合に至る最後といった趣旨の発言をされたかのように思う。鶴岡首席交渉官は出発の際に今回が最後とは思われないといった趣旨の発言をされたかのように思うが。

（審議官）今回は、知的財産については平場での協議が予定されていないので、あらためて知的財産などを全体で協議する場が必要になると思う。今後については、今回の進捗等を踏まえて議論されると思われるが、いずれにしても、今回の首席交渉官会合が最後ということが決まっているわけではない。

（記者）大江首席交渉官代理については、アメリカとの協議日程は確定していないのか。

（審議官）大江代理は9日、10日とワシントンにいますが、その間に協議すると思われる。

（記者）アメリカの態度は変わっていないか。

（審議官）今回会うのはこれからなので、なんとも。

（以上）